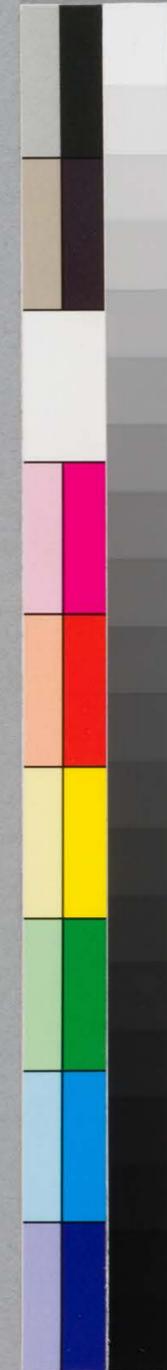
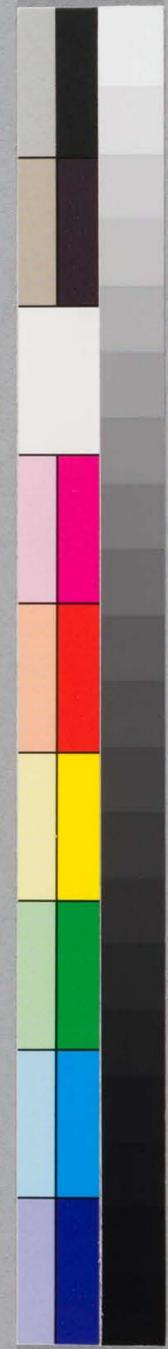
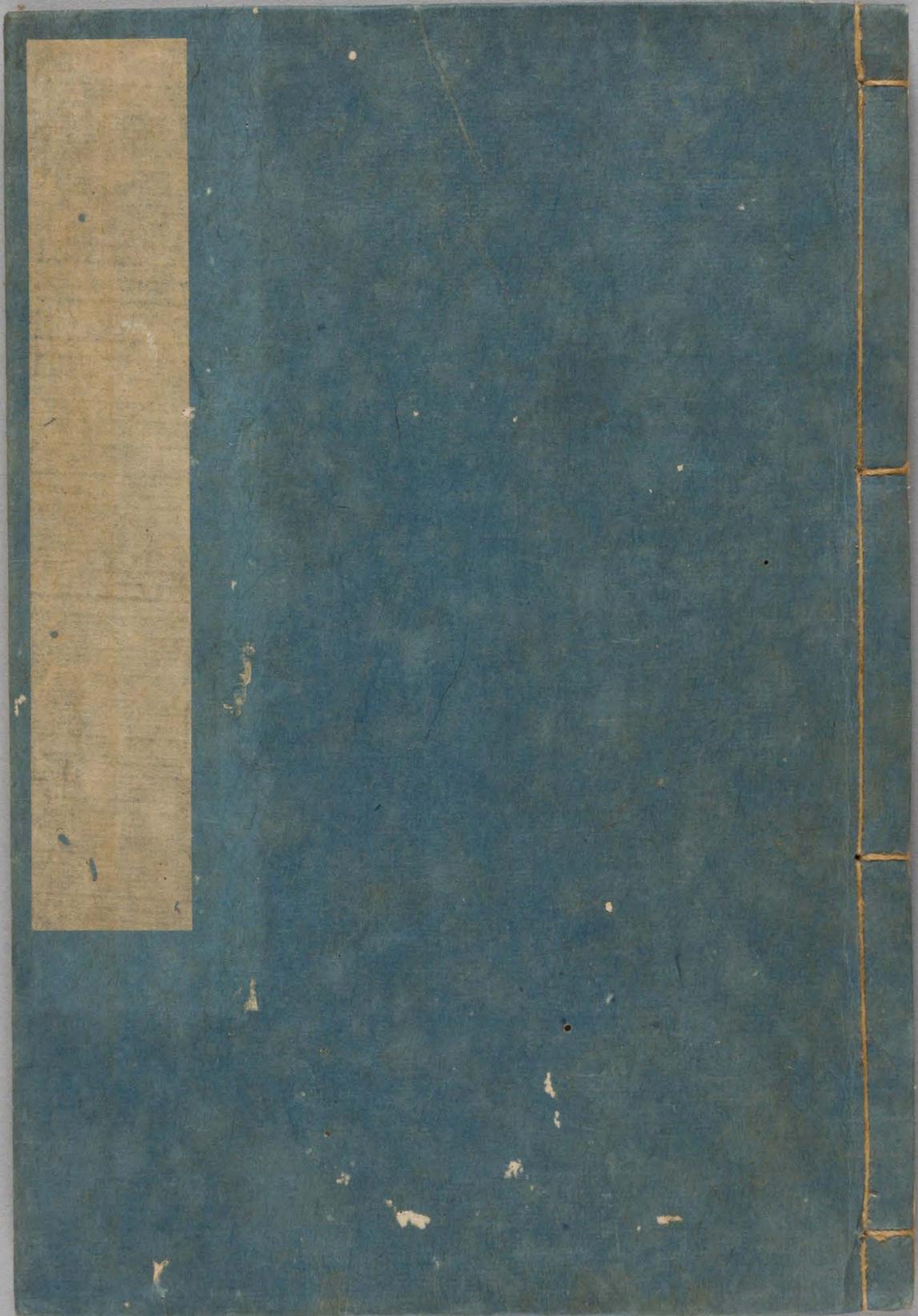


一子双傳秘法控

傷寒  
後  
目  
兼  
法

字





双  
傳

一  
子

秘  
法  
經



一子双傳秘法

湯を熱病

一  
香薷粉

かん何そ目折ヲ怒

又 狂乱 石高麗菜

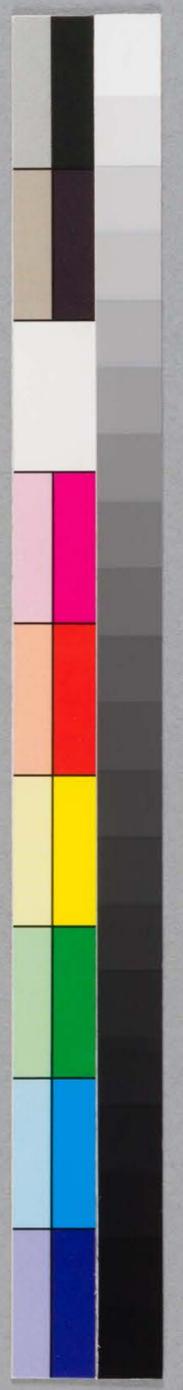
其運一表 其女

其 心ヨリサマ

惣少テイイコメホメキラス後がしコ痛

其 月 車一表 其 月 小兒

よまつ 神のオノカ子



是後之艱中ノ人食ヲ過シ幸ヲ  
徳又おんハ其ノ中耳竹葉後集に  
妹せんし日

世上ノ夜病流行ノ時ハ本

シテハ此病ヲ云フ

又ハ松ノ木ノ細切シテ一日ノ末日ハ  
即ち年七けケテヤム夜病拂

其ノ中ノヤウシ咽カハトニヤ有

イマニワルトス 其蓮ヲ酒ニテ其日

早ニ其港ノ吐シ又ハツリ後痛ヲユリ

ノミクニ時 雄黄 蜜ヲカニ日

又そのヲ有リ早ニ其ノ中ハ 圭心 芥

二味 未ノ有リ下カハ中ニ 公ニテ水

ニテ七リ打テ

温乳ヲ拂凡ヲヨケルハ

草鳥頸ウスト共之本タテ子コ袋フクロ入

クニテ灸テ苓朮ヲステウストヲ

赤ノ丸也 二ツニツカサレオノセテ

子之痛痛少食コ也

重信法ははヨ物ノ凡ぬイトハワ

二ツニツカサレ人ハカサリ未也

大骨如酒ニテ月

大熱汗おスルハ地骨皮湯凡丸也

息ノ大熱食積チカ丸ハ石膏ヲ丸也

小兒大熱ハ青蘘アヲトクノ丸也

天門冬ヲ乳ク多ク凡ヲ川穂カハ丸ハ

丸ニテ月 腎じん膚ぼニシ付ケル熱ア丸也

水味子トオトノ丸也

女子子療、徳六生北トホトノハ

白木解、瘧、熱、之、汗、行、ヲ、共、

女人血キヨ、熱、之、汗、解、瘧、書、熱、ハ

耳、芍、ト、ホ、ト、黄、芩、

括、栝、根、肺、ヲ、潤、之、火、ヲ、下、之、痰、ヲ、化、

酒、ヲ、過、ス、人、ノ、熱、ノ、多、ク、ハ、青、黛、ト、ホ、

未、生、姜、ノ、汗、ニ、九、日、

女人月水、不、調、痰、熱、之、瘧、ヲ、治、ス、

青、黛、之、毒、沙、子、中、ト、黄、芩、

祛、氣、病、狗、肉、使、長、胸、寸、少、食、狗、

ツ、マ、リ、酒、ヲ、各、人、二、日、辨、シ、カ、シ、未、ル、ハ、

崔、十、七、年、宥、之、姜、耳、ヲ、以、テ、治、瘧、ヲ、

崔、二、五、年、烏、菜、一、五、耳、入、カ、リ、未、ル、瘧、ヲ、

一名益母草

一切乳骨ノ子痛ヲ治ス

痔飲子冬ニハ白芥子白朮

ニク子口フシモハハ種ノ中ニ色赤ノ

ウスリニテ九月日ノ本ニ満名新

飲治ス妙シ一方ニ苜蓿石草精ルアタ  
ルアタ

加痔痛ノ口上仕送陳皮核ニ味

未湯ニ煮又煮ニテ七ノ日

一 脾胃虚ホ高月凡ニ排滯乳ヲ

ソシキ脾胃漲顔色ヲウルハニキヨ

ソシヨ補ニ妙ヤ

右梅子ナシ

芸朮新キハ皮ヲ剥キ別ニ日

印ヲ漬クニシテ厚ク乾ク

ニテ是ニ春秋六日暮ニ日冬七日

水ヲ茶葉ヨリニ寸許ト上ル程入  
テ後乾布巾袋ニ茶葉ヲ入メテ  
漬モシ洗テ余リ油ハカシテ袋ノ茶  
本ヲウスミ入細橋又袋又々の中ニ  
漬行ニヨリワキル程洗テ斤ニ寸許  
大湯入くるくとこころ大ニテ煮<sup>あめ</sup>ぬの  
下<sup>く</sup>種<sup>種</sup>漬<sup>漬</sup>テ<sup>テ</sup>後<sup>後</sup>種<sup>種</sup>たる<sup>たる</sup>茶<sup>茶</sup>本<sup>本</sup>

茶本 白朮 肉白蜜 厚入又火の上  
茶葉 湯や<sup>湯</sup>後白朮茶は<sup>は</sup>湯<sup>湯</sup>去<sup>去</sup>り  
イワモノ<sup>イワモノ</sup><sup>イワモノ</sup>茶<sup>茶</sup>葉<sup>葉</sup>未<sup>未</sup>カ<sup>カ</sup>リ  
キ<sup>キ</sup>リ<sup>リ</sup>茶<sup>茶</sup>本<sup>本</sup>入<sup>入</sup>多<sup>多</sup>ク<sup>ク</sup>漬<sup>漬</sup>テ<sup>テ</sup>未<sup>未</sup>カ<sup>カ</sup>シ  
物<sup>物</sup>下<sup>下</sup>種<sup>種</sup>サ<sup>サ</sup>キ<sup>キ</sup>ん<sup>ん</sup>湯<sup>湯</sup>行<sup>行</sup>カ<sup>カ</sup>シ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>未<sup>未</sup>カ<sup>カ</sup>シ  
イ<sup>イ</sup>カ<sup>カ</sup>味<sup>味</sup>胃<sup>胃</sup>ノ<sup>ノ</sup>弱<sup>弱</sup>キ<sup>キ</sup>人<sup>人</sup>モ<sup>モ</sup>無<sup>無</sup>病<sup>病</sup>を<sup>を</sup>ム<sup>ム</sup>テ  
茶<sup>茶</sup>葉<sup>葉</sup> 心<sup>心</sup>春<sup>春</sup>乃<sup>乃</sup>抽<sup>抽</sup>カ<sup>カ</sup>サ<sup>サ</sup>シ<sup>シ</sup>

水ヲ茶を煮ヨリ二寸許と上ル程  
于後紗布仕袋ニ茶ホリ入るの如  
漬モ洗テ茶リ初ハカニ仕袋ノ茶  
本ヲウス入細橋又袋又入の中ノ  
後汗ニヨリワキル程洗テ汗ニホ  
大湯入くるくと此茶大ニテ煮ぬの  
下ノ孫ノ法テ于後孫たる茶を本

カウノ一リ角白蜜酒入又火の上  
茶よる孫や于後白茶茶ばき去り  
イワモノノ水ヲテメ細末ノ茶末  
キリハ茶を煮入多ク沸く候  
知ト初サ申ん候テウリ  
イハ成脾胃ノ弱キ人モ茶を煮  
茶け茶 心春乃 柳おおる也

茶



桃葉乳 瑞冬乳 蛤 荏 蘇乳

ヲ用フ

一 衣乳 草 蘇乳 寧 蘇乳 蘇日

本草以来 下凡 法天

本草 神ヲ用ル 其 拍ノ 費 計ニ 日 始

一 下凡 艾草 常 附子 蘇 九日 志 如

一 蘇 月 初 松 益 末 内ニ 毎日

日 又 考 牙 痛 痛 善 活 小 木 他

ニ 日 せん 一 七 七 七

一 蘇 引 了 一 牙 痛 目 痛 病 治

高 考 ヲ ツ イ 仁 仁 質 香 仁 日

費 日

頭痛法既痛

宜一味酒に之を煮上りすみ

凡川惣を以痛眼痛既し此菊の

花石膏川石末ノ月

女乳少ク産後頭痛

香附子月石末ノ月也

同末を煮了み既ク此年同末ノ月

小豆 白芷末ノ産後ノ月又ハ

苓耳子ヲ末ノ蜜丸月

産後血分死せんとす

数ヲ末ノ蜜丸月

人ヲ不知ハ 茯苓子末酒ニ月

眼目微痛赤く生ず目

とよ入

同至久くあり氷泥乾草

粉目入 相違ハ表ハ付テモ

同赤ク入り痛ハ生ず赤ク

御書大ク付テ焼リテ各中ハ蓋シ

微々赤ク付テ

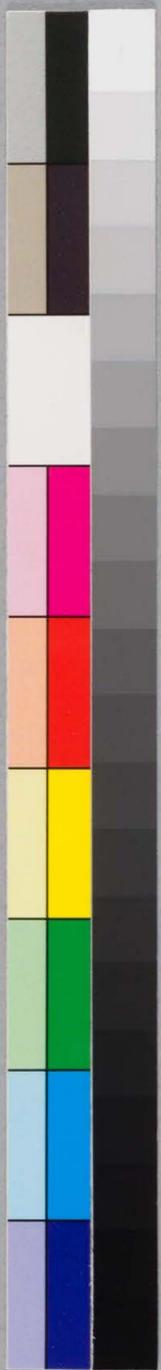
荏苳赤ク 葦煎子 煮付テ用

耳内赤ク付テ異色草 黄大膏 多ク赤

之ノ表ハ付テ痛

耳内赤ク付テ痛ハ蛇蟻所

焼耳ハ次入テ在



斗夕し青葉の黄拍あふりて

香の合へし又香に未ノ木トシ

テフワム

顔にカサが黄の

桃に未ノ香へし又香に未ノ木トシ

おれ柳ノ多ク香を洗テ

小児面をカサが焼ハタリテ

黄葉茶ヲ未ノ水ニテぬる也

鼻ヨリ白中物出テハキクキニハ

草多ク本川

レリ

黄根ノ灰 宿根ノ灰 根根ノ灰

分



一 少兒舌ハレスツクニ破ヲアノメ和ソ合ヘシ

一 色ノウセニ赤カハ乳ヲ竹瀝ニ換テ煮

一 月妙又然ニ物ヲ之ニ内ニ添テ竹ノキ

一 一合中凡舌スツクニ物ヲ之ニ加テ助ケテ和  
マ春

一 七上テ色ヲ赤カハレニ後授可重候

一 一テ煮リ良スツクニワズキニテ色ヲ赤カハ

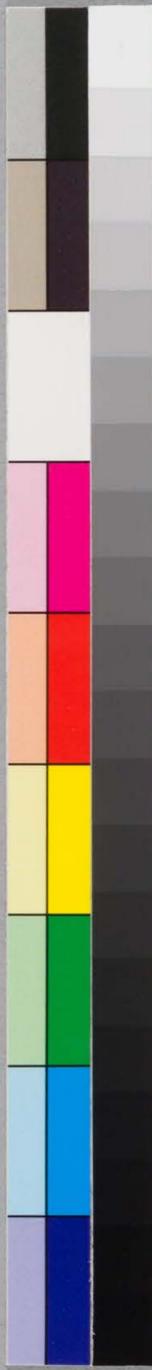
一 本通ヲ加味煮用

一 色ヲ赤カハレトスルニ蟬セ并粉ニ煮添

一 中凡口スツクニ物ヲ之ニ加テ煮用ニク生

一 善者日少兒弱与瀉後ニ立テ

一 ウニテイ加テ之ニ加テ煮用ニク生



一  
惣乳を子歯痛に黄蓮末を分ける  
前症は卒痛胡末鼠耳末を合念  
凡虫カシシ痛は是れ治癒  
痛相外草捨末を穴ヲフオリ  
俄痛をスリ痛口ウエカク丁子胡  
外草挽全燭ホ分へし

一  
少兒カンガカがササ指入ハ赤死ス白サシ  
水石ヒトモシシけテぬるへし

一  
赤口シニ苓耳ハクシを花ニおろし粉を  
夏ヲイリハクシニシタを子けニテ春  
ホ口内ニ田虫洗カサハクシ粉  
白て角子の賣けニテ此ニ春

白芍薬ニシテ子未ク酒ニテ吞ミ  
白芍薬ヨリ月馬チニス何カシ疾子  
イウコホク生セケニテ新ナク入タ  
ツルスリぬるべし又ハ因カ云句中  
生セケニテ生ラズ 又ハタハシ  
ト牡蛎取ニテ生ラズ也

こぶこふんたしう酒ニテ毎日飲ス  
ヘシコウたまきうぬるしき 又ハ海  
中ノ何カめいめ何カしノりのるん飲カ  
クモイイエライホニユフ根ヲ中ニシカ  
弟お物知カも痛ク蓬起カ目  
弟お物知

乳香 <sup>ナナシ</sup> 布 <sup>ナナシ</sup> 茶 二味 末ノ古ハシヨカシ  
かつ 隔ニテ吞ヘシ行カホ又キレシヨ  
灸カワヤツキ等 乳香古ハシヨカシ  
新ニシテテ如ヤ 先ニ房タル吞ヘシ  
茶オテカサ件

百 妙 丸 各 数 子 百 粒 有 之 行

吞ヘシ 何ト 平リ 的 小 計 治 矣  
蛇 皮 丸 焼 取 丸 有 之 也

一 乳 日 少 天 也 粉 二 茶 田 行 吞  
又 白 芷 貝 母 油 二 行 吞 入 之 其 子 一  
ス 子 一 丸 丸 焼 乳 ヤ フ レ 行 入 之 又 ハ  
丁 子 末 ノ 水 二 行 又 凡 七 吞 又 一 行 ヨ キ 痛  
ハ 丁 子 水 二 行 吞 入 之

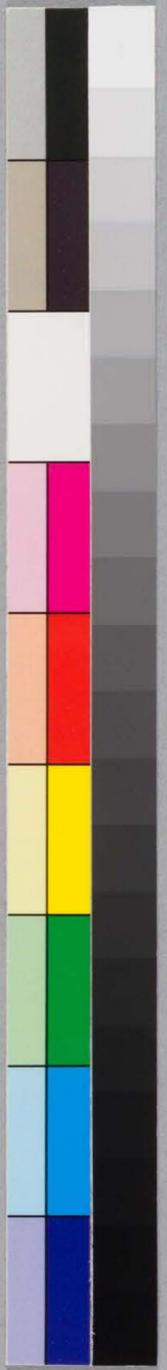
積孫初下ハシ痛ニ大巾子ボウ  
之ヨ酒ニ吞後オリ痛甚クハシ  
痛ニ貝母白芷炙ハシ花下ニ

芥ニハ苓車根ヲ搗クダキケヨ童  
便ニ入膏ハシ紅菓ハ苓車根葉  
ニ中才所ニ焼取ニテ外ハシ

楊梅瘡 市力丹ニシテ茶ニテ煎ナリ  
骨節痛汁ツリナエスクニ名ハシヨ

シヨイアサニ土茯苓十支ヨクイ仁  
金銀花坊凡本通白鮮皮

各末分半角子下ハ味黄日  
博學人ハ十月治ス年高顔紅女禁  
年高人ハ三月十日吞ハシ出スヤ 物



小兒瘰癧丸ハ土茯苓末シ乳ハ汁  
ニテ吞セ又ハ山陽木十五如皮  
身角子苦參各三分全根花葉  
水味酒ヲ費月為也

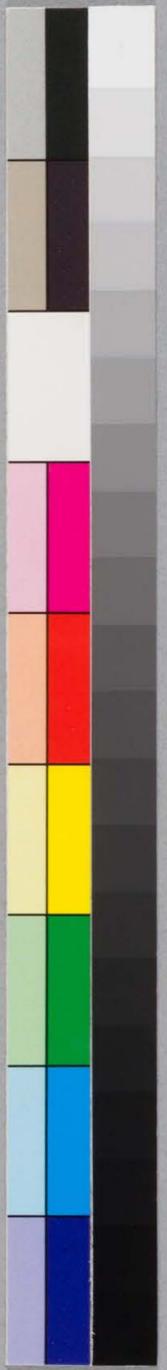
口ハ入補古中根ハ皮ヲ八分ハシ也如上  
ヤミ豆數少許入テ天之燒分也

口白雲ハ桃皮三分費二分又汁分也  
又葛根分七分也

瘰癧丸 桔梗 苗 香 燒 灰 也 又

小兒子 燒 古 三 分 也

湯マケテ升ル茶法山林ヲスリク也



鼻中入又マケテカサトぬ  
ハツカノ汁外吉

多ク香チホヨホシカサトぬ  
多ク羊糞之洗又洒カス水ニ  
洗モヨシ

ヒビ未切妙法山柝糞洗へし

茶粉ヨリ血おれハ糞糞末ノ酒ヲ

大湯ニテヤケトハ柝ノ糞糞入し

又皮ヲ焼ぬし吉又耳糞 蜜カ

ぬる七吉又大糞 蜜ニテぬる七吉

血ヲ止メハ糞糞ノアツキヲ吞へし

牡丹は末ノ香タテニ干血ヨリス

竹本内ニ筑瓦ハ用宜差糸水ニ用

又カニツタキ筑瓦モ吉

節内月ノ切タルハカニ結ノ黄タタ

ト是ノ中ニ多ク白布ト末ノぬるモ吉

指ヲ切タルハソホリ末カイニ至テ包ヘ

舌ヲ食切タルハ物ニからの中ノウスキ

おニテ舌ヲ巻シテエ血ヲや家ニ

子ノかよめ付ヘ

腫物押葉 芥山株ノ葉多不カテ

テニテ末ニ合入ルニテ付テよし

痛イ草 水せん根 搗ラ付ヨ

こぶ 産し 葉 福袋ウとアハシる

たんたんヲサすこよし 此子とむす

空月 産とこメコスルヤ

條のんごはまゝ冬時めす

赤ノのむあや

ちきくーさ 葉すん せん 移し 葉を

赤ノ梅子と二味 移し 付る

身打後 骨 碎花に 梅皮 煎法

たて 洗い 破り すり 痛取 付る

あぶぬす 葉 六月 寄り 葉

石灰 磁石 之味 様々 入之

多入 干中 係 平 入 甚 六 日 得 也

多ハ 如 果 平 子 是 至 亦 之 所 以 必 也

竹の 下 之 所 也 一 分 白 丸 分 下 所

あた すと ち や 又 甚 さん 何 け け 毛 吉

芳 候 業 志 相 合 仁 ん ぐ

才 合 花 如 下 合 上 係 骨 骨 合

お ても かり とも 移 後 者 心 係 骨 合

月 下 之 所 也

痛 骨 疔 一 日 中 死 不 換 尸 下 骨

ス 生 之 多 く せ せ する ま ぐ 子 如 骨

竹 葉 仁 之 肉 子 亦 之 下 亦 之 下 吉

劑病早しひかへしへを二二コ  
十月の初元二つおきて春へは  
うつるるるる

福小使又し某等の様子を  
目あや

一寸ハツ金ニ入るキ出タルニ  
カフニおぼテ  
福分ナドトシハフクニテ根切め

乃んぞハシフカレにちさの孫を  
吹入タナコナリもめ

つ手目ハハヒるのしくけりめや



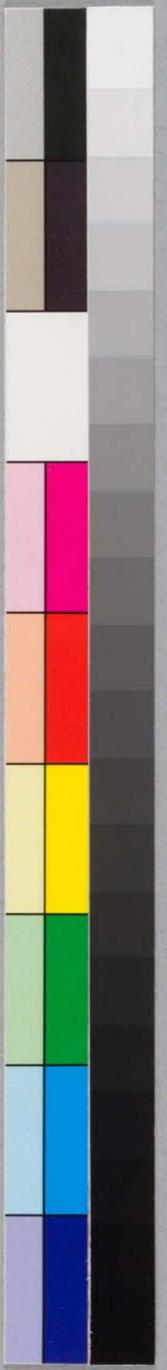
たん切名方 たるの 仲  
天目 たるお せがけ たる  
あうあう たるん 白髪 たる  
の たる たる たる たる たる  
孫む たる たる たる たる たる  
貝母 たる たる たる たる たる

平夕し 菜いし の たる たる たる  
ヲ たる たる たる たる たる

女傷 たる たる たる たる  
けん たる たる たる たる  
の たる たる たる たる  
たる たる たる たる たる

白樟

白柳 たる たる たる たる  
柳の たる たる たる たる



片断の文字

宛解ゆきまゝの字

新字の字に解と云字の存字の書

たり方へ解ト云字と云んりまじ

む秘付る解の録は解の録

はふくまゝの字と云んり改まや

まの字に解の字と云んり改まや

中にもしと云んり改まや

あやうりる 里の字と云んり改まや

の中へかると云んり改まや

水にお月水死にた人十人の書め

へまへへ書すつと云んり改まや



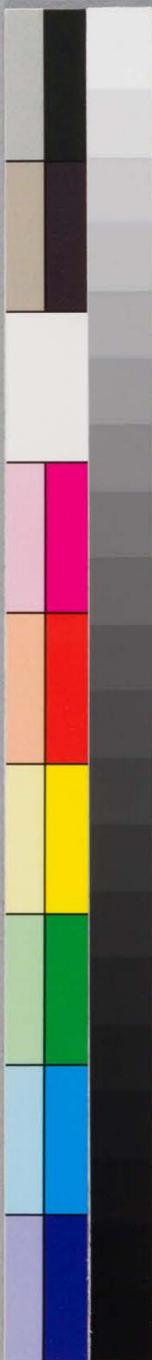
山崎守子 嘉永ノ水ニテハ一説ニ  
一カヨキノ人ナリ

産前産後血通子人ナリ  
古今ニ双ノ妙茶

人參 五 大黃 川芎 白芷 芍薬  
烏金 白朮 地黃 枳椇 茯苓

黄耆 木香 茵陳 香薷  
沉香 下 耳葉 下  
右は法も大イリ 之を以て 法也

つぎとの人 其の法も 右馬谷  
入梅金毛 是ノ人ナリ



夜癒茶送り 煎茶に 煎法

松竹石梅をり 煎茶に 煎法

粉に 湯に 煎茶に 煎法

煎茶妙茶 丁香 煎法

七ツツ 桜後 煎法

中茶 煎法

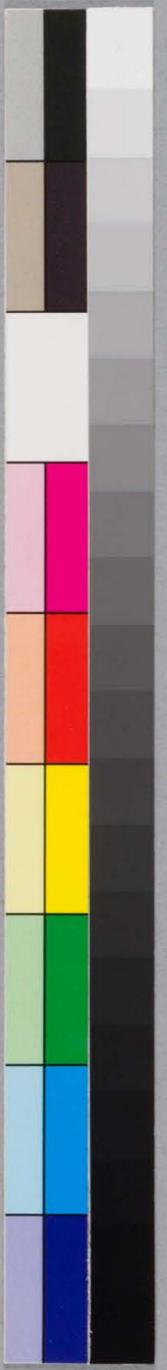
煎茶 煎法

酒に 煎法

煎茶 煎法

煎茶 煎法

煎茶 煎法



一 抱瘵ヨリ 白水ヨリ 維新ニ

フテニテ 移ルル吉

一 <sup>ハキシ</sup>ゲトク九 圭ツク 丁子ツク 山シヨ

移ル 車カキ 大ケキ 方カキ 阿仙業

百カキ 蛇舌カキ

ハ味カニ オラニリニニニ 確カ

一 宛クオノ 妙ヨナモシ 星鏡月

一 月掛 毎月亦八日 白ケイト元

以元 手カキ 又法

我ニ後 招売カキ

おろー茶 牛漢カキ 招売ニト

カニエツニト 水廻ニト 白物冬を

●九テの中位さ四ニテ月作月後

香沙子 馬シロガハル 九テ中位が月

いよゝ子茶 芍大蛙 壺中

各事々々々々

生眼大蛇骨中 換根粉 黄柏が

大凡子他ニ録月へシ

肉ツソ阿仙茶 換根大 ぶぬ九他

ニ香 ウラウラも 大粉トキ 胡二他 録月

糸焼ト茶 柳み他 十々万テニロ

中ト 曲瓶中 市玉々々 广志

茶々力ニテ 移月行吉

なまぎす茶 生大黄大 上ニセウ中

すく中のみと糸津末ノ破テテ

片打骨ヨリ茶梅樹皮由帰

事ヲ清正禱テ分テ吉

三寸果イ玉茶根ノ骨粉ニテ

胡大仲ニテ

横根下し白登然リ焼テ

セニ糸少ノ粉ノ〇九一四ニテ

多ク産種也桂心キク事帰

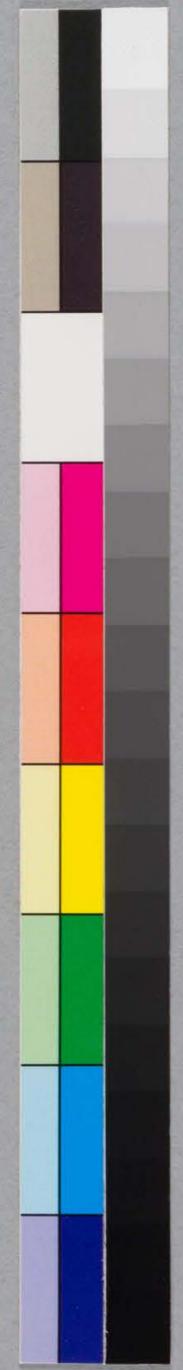
去るクツ根厚皮芍薬セキヤク事キク并液

才サも黄蓮ワウリン才サも獨活ドクワ才サもク原貝ゲンバイ

核クワ後ゴ身ミ牡ボウ蛸シヤウ下カ車シャヲヲ杜ト仲チュウ瓜カ

善ゼン汁ジツ二ニ淡タン然ゼン黄ワウ芩シヤウ事キクも大ダイ芩シヤウ事キクも

耳ミミ系ケイ少ショ行コウノノ水スイ原ゲン然ゼン



出得未去... 得是病... 牛膝... 下  
加一... 厚... 人... 接... 配  
古神... 一... 大白... 淨... 湯... 升

五痔 出... 个... 个... 个...

陈皮... 去... 皮... 去... 之... 程... 于... 每... 者... 是...  
香... 沙... 子... 思... 志... 之... 与... 中... 子...

... 九... 丁... 州...

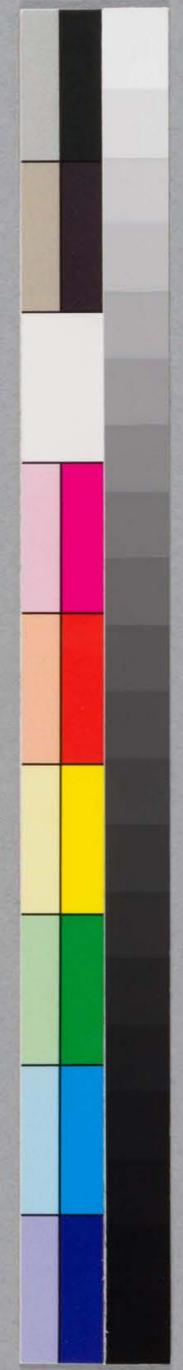
因... 散... 血... 通... 菜... 拍... 末... 十... 细... 渣...  
質... 淡... 抽... 病... 食... 物... 丸... 甚... 益... 性... 之... 白... 息... 甚... 血...  
拍... 出... 二... 日... 碎... 膏... 療... 之... 法... 以... 痛... 自... 身...

法... 山... 菜... 其... 性... 寒... 丁... 子... 存... 性... 寒... 以... 苦...

本... 香... 陈... 皮... 芍... 药... 香... 沙... 子... 松... 枝... 炒...  
白水... 行... 淡... 炒 白... 行... 淡... 炒 行... 淡... 炒

苦... 運... 之... 後... 裁... 木... 桑... 朴... 黃... 連... 山... 梔... 木...

... 之... 与... 之... 宿... 砂... 之... 良... 久... 下... 于... 每... 下...



冬参下 胡麻下 白朮下 茯苓下

ヨクイニニ五 喜慶下 田解下

行好

萬草し茶 万葉

黄蘗ガ 少建中 信使皮少の系神志

ニテ 煖茶

中見一洗名 万葉 茯苓根 根下

芸運川 万葉 茯苓系 茯苓系

はあより 茯苓の系 万葉

あまやう 金系茶

まきハ ヤニヨキ 万葉 茯苓系

初ノ節 万葉 茯苓系

入ふりく 万葉 茯苓系

血毛 万葉 茯苓系

秋サトクをイサカ子にニ申出をらや  
おのく牝めえんおのはしに吉俣馬と云  
あふふ蓮と云

指ノ緒におおちがれより中ノ汗海に汗  
をへし

ノントトキ立 定少 字江元 林 実月

元タノフス 云氣おんらる九茶あま酒月

ちやめ茶 干心味きり水一匙入

セト巻し月

本竹ヲ押込花ニ板竹中葉オの皮

くし柝夕子あふふにテ月口は押込

あふフタニテ云

指切厚とタレヲ地由月ノ方々子雲

秋ノ主と云柝と云あみり此は先工云

一 世ん子にて金六し 初らまふとイ草

多クはテロキ付る口は中ニルがれや

一 かつケゆ茶 又びノ馬純月

一 五麻 素茶 去月九日付ておたが

イリテ 係るまをり換りニ味

未ノ湯テ月

一 焼入 未なる さらばの比付

五ゆきハ かつ門の 入を おり付てすれ

アウラニケソ かんらんてあへて火付

セゾ

一 アウソナ茶 六月十五 小りあふん

そす切ヲトステ 改カガあし

ゆきし

一 大カノ馬焼 亦あし

治疾良方 事服山杭子芍药

地黄凡 羌活 防风 芍药 白芷

茯苓 芍药 木通 芍药 枳实 芍药

白茯苓 芍药 芍药 芍药 芍药 芍药

芍药 芍药 芍药 芍药 芍药 芍药

得... 芍药

去丸凡傷をたて毛ハ方後也

人参下 少者下 茯苓下 苜蓿下 苜蓿根下

薤白下 車前下 芍药下 黄芩下 黄芩下

芍药根 芍药根 芍药根 芍药根 芍药根

血五キリニケウニシニホコ粉ニテ分吉

トギシ茶の糖ヨシ生乳ヨシイフケ

山柀ウリ、ウイツハニシ他ニテ新用吉

田中タニハニの糖石 尿モクニ

家ニテ移分吉

小児百病吉処人々ニテ世世

老 陳丁 兵 之桂公ニテ

于休ケル 大徳ニテイリ毒大苦

ニテ所ニテ分吉

虫トシ 蘇木小 兵良小 苦柏小

海藻大 耳系少

カツケ節乳茶 鬼ツミ 去日元

凡人系ヨリフ飲白水ニテ上兩分費

用吉 又 赤白はわが  
人々も

初めはききも ありききも  
ありききも

口中は痛兵イリ 蓮生 二味味味  
口には古に夜々

焼産 赤い七彩  
又 口には古に夜々

尻ウイ茶 尻尾  
茶

ヨ下をし 梅子  
丹

沖来ミテ 湯  
用吉

魚ノ内骨 走トキ  
白イ

ヨシワフシ 尻  
ハル

乃シトヤウ  
丁茶



ヨウ丁子睡茶出牛二ツノ葉トナラキ  
葉梅瓜卵ニテサテ吉

取茶ナニヲ知る法ニウむ心ヲ再申人  
又分ノをさるるニ人申キス而  
先ノ子所ハヤメテ吉

酒いつと七動法屋ノ実イリテ入  
法今シ

酒ニ不婢 酒毒ケシ茶 白茶ノ元  
カキス元 ケニ布キニ事ヲ良香ノ  
酒ノ先ヲ凡シ日ぬや

赤茶ノ葉大瓶カニナリヨケ

茶名肉仕法 イシケン ヒマニお皮まリ  
ノウニとミスリフシ茶ヲ入テ初見  
白イ色の和ナ色 餅 餅粉ニテ入

大酒ヲ下たるは法 味天を竹や梅中  
切くいはゆき丸物に付、中一か  
り入るるせしむる月妙

夜夜竹は法 由天の事  
皆せん あせしむ

かじまは 市土 蛇骨

ハヤラク 予まき 未なる根け

仁キじ茶 蜜の純清粉 三子丸

餃ハタヌ 新の端、酒系  
木百の法

酒の癖 オニ法 ちあしはり  
ち根あらし たり けり 系り かし

ホシトキ又ニルニ漬扱をサヒイタ  
けナクと漬タリ上タリ干タリ干カス  
餅夕時水ニテ日又法扱皮取ソ  
丸ニテ後日干モ吉

多クサシタタラアモラノアクニテ洗吉

混分タラアモラノアクニテ洗テ吉

又法扱サシタタラアモラノアクニテ洗吉

白血長血 希キユソ実ヲ去リ

皮汁果沈ニテ好テ月好ヤ

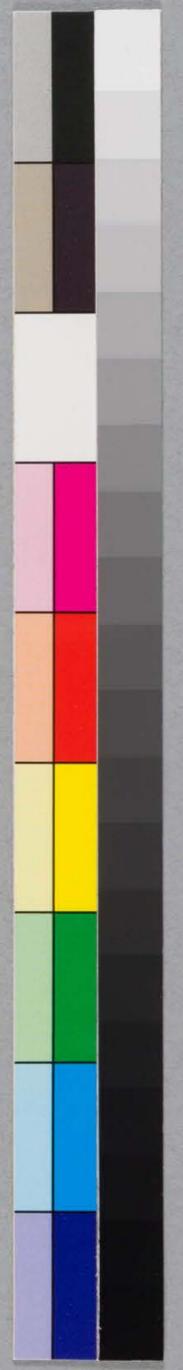
産糸ノ如減中味

子足ヨ花キ干カウ子ニ改テ月好ヤ

少ク宛ニホ苦着シ重付ハ

人多ク大沈香大カ中好大川草中

白深小 白本小 耳葉小 白葉大



但し子ハ亦ト使テ通古魚ノ  
少候浮粒如ク古魚牡ヨリカ

ニニケ日ニテ食カハ湯水社送ニ去ハキ

狗痛古魚ノ好シキ味ニテ吉ク付ル

況ヨ増テ香ヨ如ク或ハ四月十八日特

妙ナ如ク 狗痛人參妙ナ泥ニ増

往後ヨシクテト七ノ病目ノトヨモリ

息ガシテ子ク其ノ深ト書リ或ハ脈ノ数ハ

大事ナ

熱ガ氣ハ如キニ治根津ヨリ貴葎品

大使シフルニ伏竜肝ヲ水ニ稀クシテ

行リテ浸ヘシ 久ク候ニテ其ノ味吉

子ノ宮中ト使テ子ヲ押ハ内ト安メテ

此ノ子ヲ沈粒加メ特ニ加セテ吉

大便通柔然、牡加、在血、分十、  
大便十、分、七、分、通生、牡加

小便淋、之、人、分、加、然、分、沉、之、加

川、分、分、之、加、腰、之、痛、之、加

分、沉、之、加、又、後、之、分、分、加

欠、心、之、分、之、眠、之、分、骨、痛、之、分、之、加

分、分、之、加、人、分、之、加、然、之、加

分、骨、痛、之、分、分、沉、之、加、人、分、之、加、牡、加

分、之、分、之、分、之、生、之、牡、加

欠、心、之、分、之、分、之、加

唯、痛、之、分、之、分、之、加

分、之、分、之、加、分、之、加、唯、之、分、之、加、血、之、分、之、加

分、之、分、之、加、入、分、之、加、分、之、加、分、之、加

張、之、分、之、加、血、之、分、之、加、分、之、加、分、之、加

分、之、分、之、加、分、之、加、分、之、加、分、之、加





子はわん子未ッ生花に盛る水にて  
トキ又ルへし母も吞スへし子死タレハ良  
久加子子持リ下ルこ大黄毛亦加

子死口ヲ離母肝に管分へ百人多ク苦  
ニ命入目亦三ニ少液酒ニテトキ大業  
月子死に吸分こ母死入り多クハ  
口ヲ割たし業ヲ月携あヒナリタラハ

牡ウ加新毒下カケニテ沈リ坊苦ヲ  
ヒカエ

携あこぬく子生タレハお懐耳  
昔昔ヲ信ニテリヲ和

子母ノ物へ子ヲ養ス一ニ養子有加  
子母ノ物中ニテ何ノ首お苦耳坊

子持門ニテ和ウ一ニ古血ぬお坊



牝ヲ加古血イヤカリまね物に

子娘中ニテ子息ヲ初ニ結痛し五喜加

母ノ子指先痛ニ近相索産加母

本信

産月迄ハホツリ業吉加式ハ吉ホ

坊一月迄ハ六喜一分二月其申分二月

迄ハ中ハ

月ヲ緘リ十三二月或ハ十月月産ホ若

如味ヲ子十月三日尾ニ分一加産正乳只

ハヤノ如減スヘシ十三十月ニテ産産ルトモ

息ナシトストヲ色ホキクトホリシモノト

行ニ是ヲ表湯ニテ内次ヤリホ若クハ

夕ト丑乳ヲ死夫トモホ若産産加減ニテ子

一十月七希ニ子ヲ産セ産ハ子如減ニ産

日ヲ吉



味骨汁又ハ湯柔酒法中一ツを合セ

東一ツの食おナケレハ子狗上ル子ヲ

モシヲ物子カエリと申シナキハ大

十日モ二十日モシキリ之程ヲ加テ沈滞

十日十の程ハ血下ルコトカウ子ト云テ

産前時ガシラリ産後ハ兼テ得勢ガのり

ヲトキ電也味濁リ血ガクシテ赤ヨ赤後

大事事コト切ヘシ

子湯下コト付子湯掛葉ハ湯ニテキ

コトナリ各一信コト子湯掛コトハハワフル

産前コト白赤ヲ信シテ赤

産後コト赤産後ハ実ヲ水ニテレキコト

タトスルコトオケヌ也

産前時ハ腰抜痛レモ子ヲ宛押ハカス

女も乳をすべし但しウツムクハ、余は牙ヲ  
スクヤリと云テおシアスルヒタル程、後中  
クワロキ子ガアリ安し物なりト云ル子  
カアリヲシコノ宮ニ来ル時腰ヲキキテ  
ツヨクイキマセニ執リテ安産ニツヨク按  
痛ハ人參煎テ月ハシト  
後腰痛連子ガアリセガルニイキツク  
式ハ横子連子も安産ニムホト  
イキツク子満アリテ後ツキハク  
ナリ胎産内ヲウシ日ヲモ保んセキ  
身折ナハカシク申産生知方ニテスツヨク  
冷ナリ子宮ホリと云テ中ニ染れおし  
式ハ横子ナラハ安産ニイキツク  
母モ吞セ式ハ子満アリトハ子満下死



一 倍程で子式ハリ於テスク至リ於テ  
乳ハ氣血流通ニテ小腸ヲホルヤ  
ウニ務活スヘシ

一 胎前血上セトモ血平ル産前  
平時イリモ脈沈神ニ引況ヲ倍ニテ  
苦芍ヲ加ル

一 産後帯解テ母衰ニホノ業ヲ日

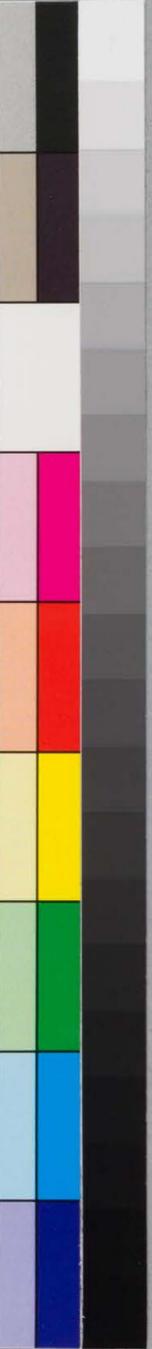
一 小カスリヲ可也帯ヲトクハニ産月ハ打  
為衰トテ帯ヲトキ子抱ハ母衰ハそウ  
約トオスリトヨ

一 子ハ向トモ産門塞リ帯産ルセノ  
牡ヲぬニテ・先程丸ノ子ノ宮ニオスヘシ

一 二子ヲ合ルテニ子ナカウ付袋ニマシ右血ニテ  
ニハリニウニ子女ニ子オニ産門ニ向シ生ニ

兼九ノ先お味ヲニニ後後亦一後  
生牡ヲ加日ヨ古血ヲ押テウシニウ  
押分シタリ方ニ付花子ヲ約クウク  
オスリ止後常ツヨクノおめ業ヲ存セ  
マ産テ後お味ニニ後亦一市ヲ解テ約  
ノ子ヲオスリトケおめ業ヲ存セ産スル  
若シ後子死ニ止シ兼生ノ牡中ノ首ヲ

加子子クナリ業ヲ加減ニテ日ヲ夜シ  
内ニクナリ下ルナリ  
難産時ハ大賞ヲ加  
約ノ痛前後トモ人參ヲ加  
結中ノ子脈ノ流ヲ前ニ屯テ知ル  
おノ子ノ指先キ痛ム



始内ニテ子死ハヨ 難シク知リ  
母久シクイノスルナリ

子故中ニテ死スレハ母 息キクナリ  
之喜ソハ 之喜ク 後大ニテ子ハ  
亦却細細也

母也 亦味ニテ産子 乳分テキリ  
縁故痛時ハ 亦喜ク 之喜ク 亦喜ク  
子カエリ安シ 亦喜ク 亦喜ク

母也 亦味ニテ産子 乳分テキリ  
縁故痛時ハ 亦喜ク 之喜ク 亦喜ク  
子カエリ安シ 亦喜ク 亦喜ク

産後

血より氣元夫毛不若中味引沈  
人冬多信ニテ

後物下下ニ此相生牡加日古血  
下兼ルル業ニテ古血才ニ下ルヤ

同是也下下ニ此相生ニ此相生  
トカセ業ヲ与ル信引ルハ此相生下下

兼ルルニ銀久養ニテ七不若ニ此相生  
リ業ヲ日

強壯痛ニ牡ヲ加録沈細ナニ此相生  
古血トシ

後物下下ニ此相生ニ此相生  
加子下下ニ此相生ヲ知ル

子下下ニ此相生ニ此相生ヲ知ル

ゆるめ独皮ヲ和カシムニ銷ニ包子ノ米  
押宛テ少ク人ニテリ向ク誣入

子ノ宮痛ニハ味ニ半崔ヲ加又湯洗カ  
石灰ガ入チリクテ洗

子ノ宮被タレハ味ヲ更純ニシテ相广  
伸ニテ分ル者被月分ニルガテ亦及人ハ夫  
石更純加テ身内葉ハ味ヲ子又湯

ニテ洗カ石灰ガ入能ハ減ニ極湯ニテ水乳  
ヲ又クイ葉ヲ分病人ノ乳母ヨルハ  
ソリケ分一ハ味ニ牡加古魚カシ

氣遠ニテ欲あふビレワタリ思ニ奇ニ  
若ク味ヲ子ノ後乳母ヲリニ然其下生  
牡加未分加リ

物ニ相一ハ味ヲ湯洗カテ半崔牡加



熱丸ヲ飲キ舊耳ヲ増大熱キ  
耳如沈ヲ増シ新後オモリ

吐逆丁子虫モリ以式丁子生牡蠣

血散也

子ヲ生結帯イヤカルヤ市味子結帯  
トクハシお若帯ウヨキハアミヨリ  
テ枕ニシリ積積ナスヘシ

古血ニテ新後大役ツルニテ新汁

新産ノ如減法ナハ日如減牡蠣加

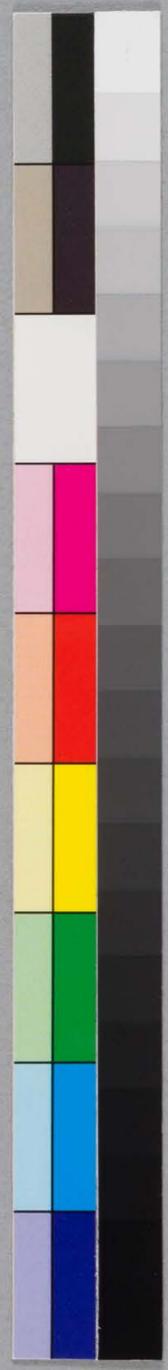
少使お免トルニテ漏ニテ是ヲ洗也

孫ヲ又ク内業古血如減

子ノ宮塞リ少役滞ニテ漏石灰

産ノ實入洗ニ内業古血如減

シヨカ干介沈ヲ増牡蠣加



少使不道古血菜乃柔ハ妙牡荏膏

ホム加人使才吉

少使之間ハ妙牡荏

水多クおん古血加減

味滑汁イヤルルハ味ハ人分妙加

物ヲ痛クオムハ之ヲ吉

食不ハ縮加工 虫牙スクニ括骨ハ

有ハ古血加減吉

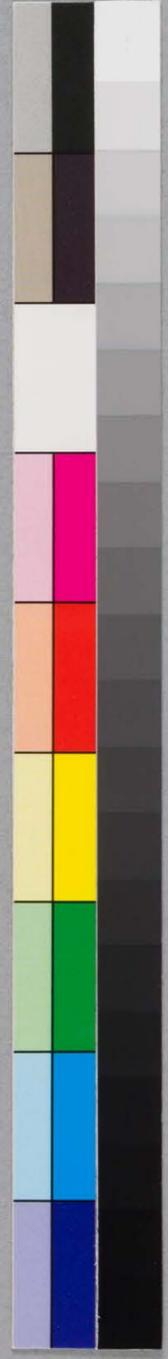
改痛ハ昔ヲ増ニ之後後ハ所況

ヲ倍妙牡加古血下ス

各血ハ個ハ血おんハ血有ハ所

所況ヲ増昔ヲ増ニ之後後ハ所況

各血おんハ



凡ホコニ式ハ小養也ル皆古血ワホシ

約イタム一古血多ク下ル故ニ相味ヲ

好テ介沈ヲ増口付多クテテ増ト吉

務ニハ元ト凡ヲ亦ル加減ニシテキ産

人々多クテ如

シヤリリニハキ産加来ヲ増也リ

血下ルニ沈リテ増耳ヲ増特ヲ欲ヲ如吉

古血加減中キ多ク来ヲ増

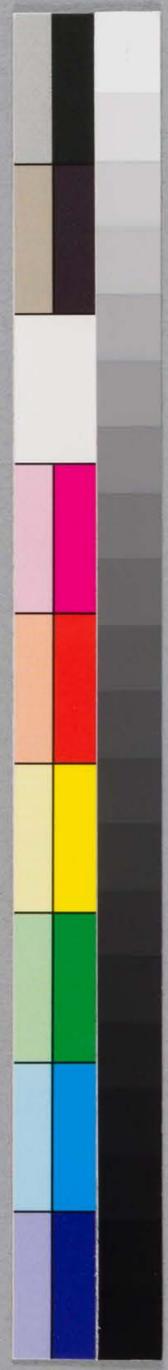
行ヲ多クニハリテ増耳葉ヲ去シ

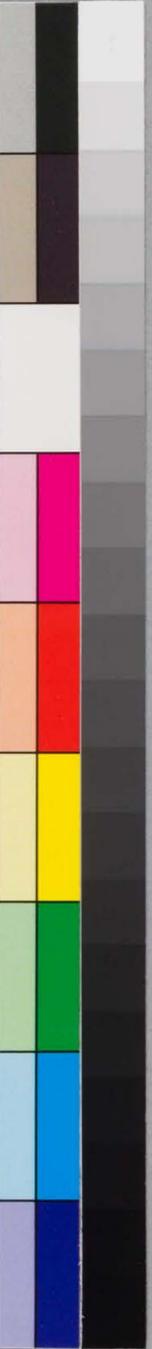
因乾キ多クテ来一古血増ル故也

切ニ生ト好牡等ニテ用大車也

各種乳ナクテ多ク切ニテ加テスロイ又

脈ヲ見ル古血上テ来ト見ハ切ニ





沉ヲ増中 薩加 芍 芍ニ 持 古 血

力ニ 久 血ヲ 下 久 沉 更 手 上 古 血

中 不 加 減

後 下 凡 六 斤 芍 芍 増 人 參 妙 名 芍

之 急 業 子 是 生 芍 増 冬 是 統

増 口 一 可 持 妙 名 芍 増 冬 是 統

生 芍 増 古 血 加 減 吉

絲 痛 絲 名 凡 薩 加 其 本 可 増 古 血

以 減 又 是 相 加

絲 収 凡 一 五 中 味 吉 古 血 不 下 也

加 減 絲 下 絲 凡 六 斤 沉 芍 増 如 律 吉

絲 上 絲 八 芍 芍 増 後 古 血 加 減

年 又 子 絲 八 芍 芍 増 古 血 加 減



目不見好耳少少苦苦苦増わ去枝  
後介況ヨ増サ苦ヨ女

多ヨトヨクヨミ遠門式ハ人參女

介況増テ生テ牡ヨ如

虫ニ丁子牡青ヨ如

么費白中お下ス一々古白ノ蜜リシ

白クトルニ生テ牡ヨ増

白白長血ハ味わ去枝ヨ乳ヨリ

ニテ牡ノ生ト牡下ホク品ヨ左血下

増ホクヨん合白増ヨニ分一加ヨふる

ハニ旨増ヨん又月

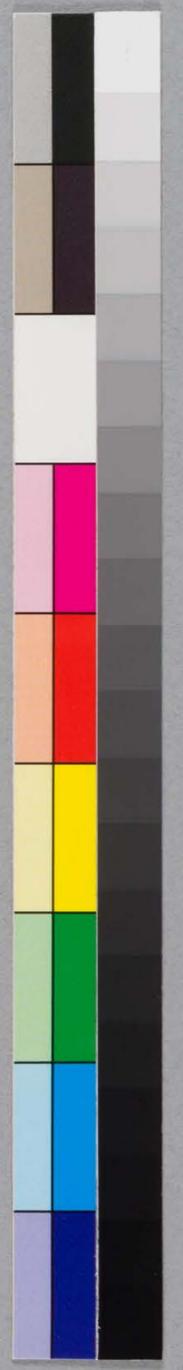
増乳ハ牡下生此期加月

増乳ハ牡下生

元種元振ウハハ味子海特加  
帝後イモハカハハ味子草ヨ加子ヲ  
アウエ血ヲハルヘク脈沉細ナハ  
大事ナク息ナシヨリハハ沉ヲ増  
人參ヲ用ヨ子ヲアウエクハ六ヶ友  
老テ子ヲ生ズレテ七古血ニテ後痛ニ  
味子古後月餅花牡加イリホト元

古血トシテ吉 脈沉細ナハハ浮下吉  
子ハ生来ヘハ古血ヲ治クハ左ニ  
中葉ヲ用テ後古血ヲ療治ス

月水ヲ熱乳スルヘク懐妊ナハ  
ナクニテ月ホト血ヲ又流ルヘク  
先古血ヲ用テ二日経モウニス合  
テムニテ味子人參ヲ用テ沉ヲ増ス



一日之後日 氣血所入多増

後切下スル迄相加振神とす

古血如減口

上ノ痛ハ昔増下夕痛ハ今増

縁ト上ノ痛ハ昔増

十二ノ娘モ古血多ク

上血多ク介沈増上血多ク是熱

アリ久委古血下ハ壯生ト後久未

分ミシテ和味之合一日

産前ト久委縁又ク下有昔昔増

産後ト拍張痛塞ハ人多ク内製

紙加

生タ子ニ月白本首耳州ホク女

下ス一〇〇吉

物ノお儿六あひうく如言又儿吉

法衣妙法

大さきヶ 互位

馬焼オイカ七位

右御之色相入

大士カノエ入ヒノエ丁母ヒノエ可ヒノエ合

男子函

小士カノエ成ヒノエ子ヒノエ入ヒノエ丙成ヒノエ可ヒノエ合

女子ノ悪

夫童ノ年 母半ノ年

生儿ハ若死ス



一切吉

録尾 土月 元極スリ分粉ニテ

辰砂加水ニテ月ニテ

小児肝月内業

蓮 本固 昔 各事ト可ニテ

菊花 使君子 五 参 五

枳 五 車 五

冬ノ月妙

何似茶 蓮 木 分 終 方 三 也 月 下 夕 見

月洗茶

馬ハニ入ヨハニ 枳 赤 ト 子 リ 月 本

忠 冬 之 事 三 中 之 事 子 竹 之 事 二 子

ヤ 中 洗 少 入 吉

冬月業

すくめ改まらう牛血丸 六分入  
スリマセ ャムクオスアエ

元禄年号 右ハ雲判先生書寫

一 清和教 雲判 後一切吉  
芳栢 弄 川 弄 弄 弄 弄 弄 弄  
雲判子ニ也 二三日 申也 申也

右紙ノ白ニテ挽振テ仕之ル

一 産屋子 弄 弄 弄 弄  
竹ノ葉 弄 弄 弄 弄

一 陰門ハシ 痛ム  
鳥 役 ト ロリ ト スウ 又ルヘシ

一 陰中カハキ 蛇 弄 弄 弄 弄 弄 弄 弄 弄

又、香仁ヲ果純銷包陰中ノ吉

若後少役少通如茶

竹の中ノ冬々登脚ヲ日吉

古血リし桂枝 冬 桃 牡 芍

蕨 事トミシク 歎少入テ日

少役少通 仁シ肉ニ命 丹 春 此ガ

ちリキソダキホダニ入海ヲハル妙

産後結痛 圭 神来ノ湯ヲ日

又田ニミ 果純此湯ヲ日吉

不懐茶 捨ノ實 三五倍ヲ日

大ゆ来ノ時ニ包ヲ日

産後中凡ニテ子冬スクニ命

ニラズ齒ヲ喰詰タルリキモ

芥キモ粉ニテ湯ノ内ヲ入りキキ

日ヲ吉

第一白血 長血 キユクノキヲ去リ

馬焼ニテ引タル日吉

教<sup>キ</sup>子<sup>フ</sup>柿<sup>フ</sup>皮<sup>フ</sup>一<sup>フ</sup>如<sup>フ</sup> 踏<sup>フ</sup>眠<sup>フ</sup>石<sup>フ</sup>焼<sup>フ</sup>石<sup>フ</sup>者<sup>フ</sup>仁<sup>フ</sup>下<sup>フ</sup>

熱<sup>フ</sup>蟻<sup>フ</sup>血<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 尾<sup>フ</sup>砂<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup>者<sup>フ</sup>仁<sup>フ</sup>下<sup>フ</sup>

ハスニト 依<sup>フ</sup>者<sup>フ</sup> 屎<sup>フ</sup>者<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 乾<sup>フ</sup>晒<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>ト

右九日ニニ分日ニニカンニ七吉

ふくによろル妙業

海<sup>フ</sup>魚<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 書<sup>フ</sup>取<sup>フ</sup>ト<sup>フ</sup>云<sup>フ</sup>平<sup>フ</sup>船<sup>フ</sup>出<sup>フ</sup>花<sup>フ</sup>

似<sup>フ</sup>テ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 砂<sup>フ</sup>中<sup>フ</sup>粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup>

花<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 身<sup>フ</sup>七<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 七<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup>

ホ<sup>フ</sup>ニ<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 七<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup>

弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup> 七<sup>フ</sup> 弟<sup>フ</sup>ハ<sup>フ</sup> 粉<sup>フ</sup>キ<sup>フ</sup>モ<sup>フ</sup>

虫歯ノトナエ

虫ハコヨダシノ虫ニトヨク上ニタイ可  
シテ又ドカアリキメウズニ及んトナエ吉

新産ノトナエ

大ハンニヤハラニ女アノ子ダリクサシモ  
トツニ及んトナエ吉

急病ヨケ

イロテ川ニモスツ川ノ流クム人ニ  
ウレ夜病ノ神

シヨカン凡ノ名ニ及んトナエ  
カエス仔細ノ神

世門ヨクゆて返しや凡病神

このせと人作らんと

山本村

月茶法

左眼



洗茶

洗肝滯

黃連中

黃連大

白朮小

甘草

白朮少

右一色水一盞入七分煮納じ茶

目也極テ右方心洗月ホキヤリ

エシキヤウシヨ加洗ヤ月三六右眼

白朮 洗茶

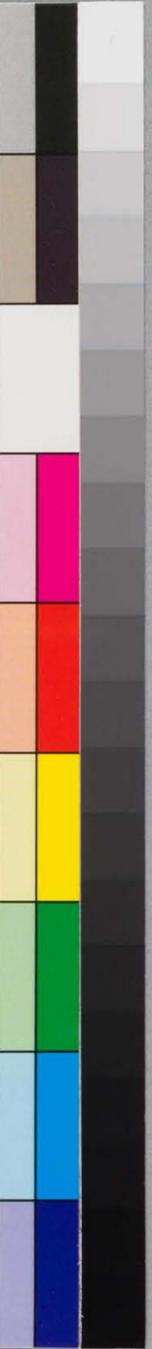
黃連大

白朮小

水手割洗



右七色トモ本生ハ左眼ヨ



一月後よりカエリてユケミヌルカ子ヲ



スルくトシテ指葉

毫眼散 湯ケニテ血ノルハモ

アリハ若

沈眼 多クリウ女滑石 石膏

蒼貝一モ氷 烏賊ニ ホレイ

石炭ニ

右申末ノ月

一ハ先玉ノルハ有 血盛散 玉おタル者ヲ



イロハ為貴おタル玉ノルハ有  
子血ヲトリ日敷をムウニヨル

阿モシニ付葉

ヒマシ カウサケノ肉ト合ノリニ押セ

付ル 玉お入ハ 付葉ヲ丸

指葉ニハ毫眼散吉

トニツノ指葉ニハ

辰砂散吉

虎肉 石膏 白礬 辰砂

麝香 水 多 賦 之 法 略 示

右神末ノ煉テリ

月ノ輝ハ十日ニ日換スル月

地血ヲ流一ノ形象ニ赤布ノ二下ノ根ヲ切テ

切ナリ月ノ輝ト云ハ眼ト眼ト成テ丸

神キク節ヲ子ケト云 今葉白散散

白礬 蓮砂散

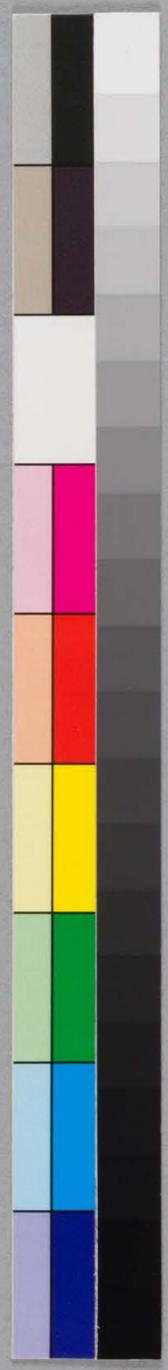
右末ニテ一日ニ水方月

ヤ之月ノ葉 葉連ナク夏ノ屑ナリ

右葉煉結記ニテトキ括シ

但血月ノ始ノ耳吉

日



杏仁末納包即指こ大勢乳  
月ナハ六本下 水張ヲ女加テ吉



凡眼 ツ赤ミハ 血ヲ女又ルカ子  
浮シハ十日ニ つルハ 血ヲ大分洗茶  
行要 之名目血ヲ大分指茶行要

指茶 丹毫教

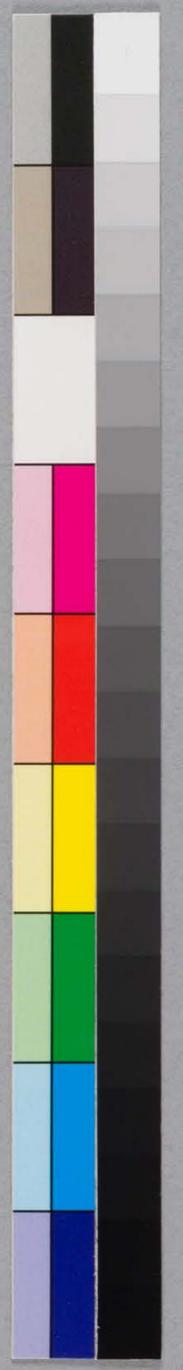
辰竹石膏 燒毫 荳目 砂石者下

丹 蓬砂 天石 砂眼者下

右申末ノ

肉茶 茨苔湯

上乳 而赤 鼻息之アリキ以割シテ  
痛吉



雜交 藤之草 荏苒子

薏耳 活凡各子

右葉月少月

洗菜 羽湯水 白卷一味水可洗

少未之六 少肺我子

少未之六 似夕元月

寸少服腫子 血元痛ハ於服類

辰砂 白卷少加子 括入之洗菜ハ

羽湯水吉

少未之六 洗菜 羽湯水 括菜子

賦教 内菜ハ 女草湯吉

ヲニク 骨服 前少子

カナメク 一 墨去ハナリ



ぬり茶 仙白散

ヲミロイ 右膏 赤色 潤石ニ

アセニ茶

右水ニテトキ又ル一日八九分指

ぬ茶 喜石 潤石ニ

うつあ耳分汁ニテトキ

引茶 白卷 蒼石 葛粉

右宛ニテ月ノ如ク

口ヲニハシ 水ニテトキテオイ

板マツケ 拵茶 赤散 七吉

痛<sup>ウツキ</sup> 癢 目アリ又立ヨケシハ



アイニクキトキハ 茶ウケ拵

茶ハ冬仁 菊花ト命 沖末ニシテ

水ニテトキ色の羽根ヲオイク川

但麻ノ目ニキヨニシ

熱目ニハトウニシ

一 痔<sup>ウツ</sup>光川茶

ヒマシ

白唇茶石名下焼茶

若ゆね<sup>アタエ</sup>水ニテトキ色の羽根

カク<sup>カク</sup>川魚ノ多ク月ニモ

ヒマシ入ル然月ノ中ニ入らん

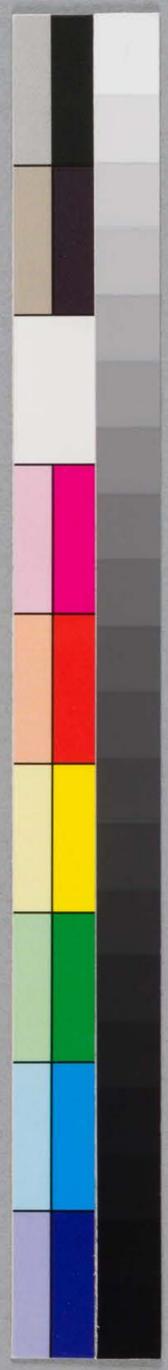
痔<sup>カク</sup>ノ多クハヒマシ大加

茶茶何色ノハレ物ニモ

一 痔<sup>カク</sup>キヲ止ル妙茶

川ノ小エヒヲ生ニテ上はヨ

カクニテスリミテ水月ニ



日 蒼石大 白芙蓉 燒毫大

右ヒツルノ汁ニテトキ目ノ糸少ク又ル吉

但しヒツルト云ハハエ糸少クナリ

一 丸不定 熱夜キハ高隄教

大者加テオシテ吉

キリク 瘧熱五ハ 乾好教

蒼石ヲ加テ吉

瘧モ血モ月モ夜物ナリユト

月ノ瘧ハ一辰夜ナリ

外障



脾ト心ト腎トニ後ノ

内障を脾ノ外障

トナリ又脾ト肝ト致テ

外障トナル

括葉角を教

コソ石 白芙蓉 乾石 各を

天石 赤石 烏賊 去陳者下辛水

右冲末ノ

他茶 二毫教 新化焼伝

牛乳 赤名茶下 石膏 蓬砂 各三

天石

右冲末ノ若外陳キカ又ハ所白角口

黒角口 水限者加テ吉 卑

ヨリカ又ハ喜角指又血十キ三七

外陳ノキ又ハ三七 若石ヨ加テ指

血十キ外陳者吉

他茶ハ 丹赤教 七種カ五茶

新化 焼石膏 蓬砂 天石

赤一 冲末ノ焼合テ升

血之 外痔括茶 云血散

多臍 角石冬 广香 决绝

右坤未ノ括

入之茶 二石散 力不之月晒儿物

去深 天石 决绝冬 白卷

重水 坤未ノ括

右坤未ノ自ニ七仕上ニ吉

丹降散 平花茶 血十キニ外降

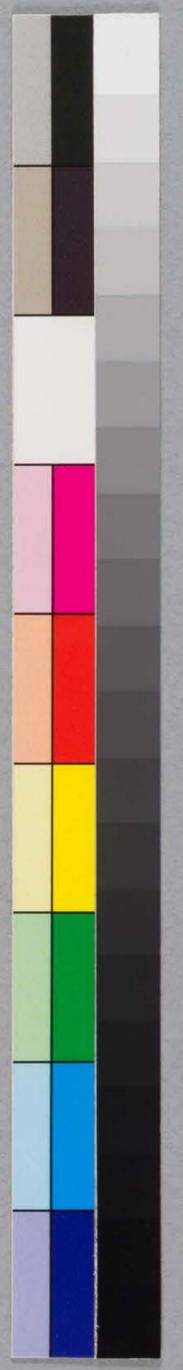
弱中月ニ六ノ用多リ括ハ血カ儿ニ

血多キ月ニ悪変

决绝女 决绝石膏 蓬决

天石 第一

右降合



トヨリおん厚をあらわしつらかきみちアテ油茶ハ



丹朱教ナリ

卑ナリ上ヨリ外障冷クユル月ニ外障ノ

おんマフタノ上ニ月ヲフキ紙ニ結傷ヲスリ

リシヲニキクヌラスルアタニル夜ヲキテ凡

指茶 丹朱教

障眼ノ老ナリニ玉濁ルニ案ハニ外障

白月性弱キニ熱ナキニ人ニ事スルニ

指ニ花ノ久ル月ニ毫毛教ト唐表茶

ナリ指ノ初ニ紅ニ比熱ヲ取ヤ

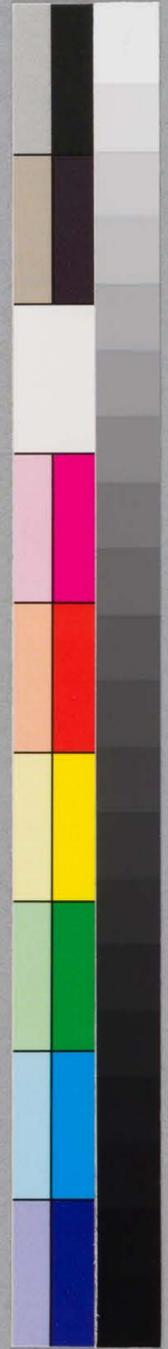
高朱ニ蓬散 荳貝 天石 貝子ニ

新紅ナ 結丹朱ノ煉合用

掛茶黒白教 乾痰ハ子クカ入テ

結ク丹朱ノ掛ル

内ニ痛凍散



石黄ニ 赤米一ホシヤ一 貝子シマツク一

アサスリマセ 漢イ目

ムス茶 外障 丹入 胞瘰目

黄連 黄芩 芍薬 桂ツバキ多量ナリ

右一虎膽カン膏月ハ綿ニ膜ニ丹ニ入スク

血痰ヲ追キ兼ヒ

若石女ハ以テ福ヲ得ル一 滴入テ至ス

痰ハ明ク血ニコトク引ク此ハ俄ニ有ルト

口連 芍 介 各ト定テ下ニ虎ト

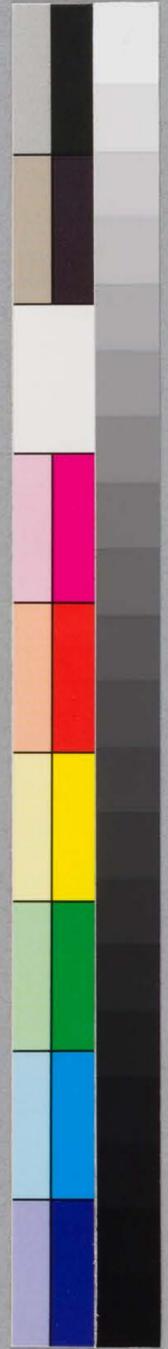
様多子ナ可ク水ヲ多ク入ル方ヲ灸シ合ス

熱自白ハ芩ニ白ハ芷加テ吉

目障



口ヒト云物ハヒビシテシカシ  
ハカウシテ物ヲシクシカス物ニ

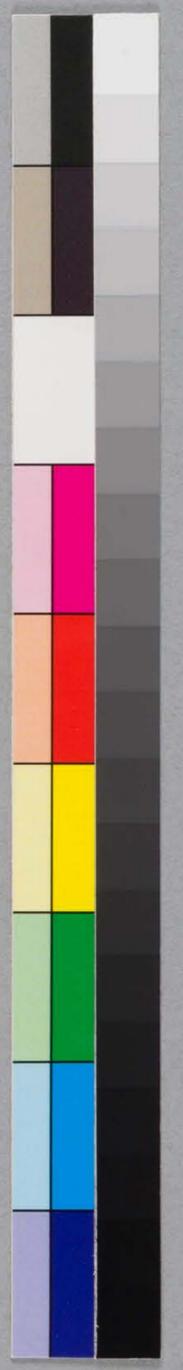


右の内人足細く葉より葉の内人  
大中批把より葉の内人葉より  
中七人足髪ノ毛切ロヤウハある  
白の内人足白キおの内七人ウズカズ  
イタズ大用ノ上ニ病ナリニテ足短ズ亦  
指葉天縮教  
玄水ハ多賦代緒石牡シイ赤石

石交明天石滑石石膏燒毫  
首貝張砂新地右ゆ未ノ

内茶保肝湯  
引弓芋夕王屏山茶トキウ押  
荏各事耳カ

右葉用カカ茶葉ニテ亦車ト云リナシ



中津ハ時々疼心モ有北方モ吉

大口散

トセキニ

楊梅皮一升少 葛粉少

右神未ナク久委白梅タル目久シク  
有肉ハ然ク對外ニム茶散ニ降り  
茶指間、アソクニ切リ指タル吉

夜癒月



如來タル如切アタラシク指タル也

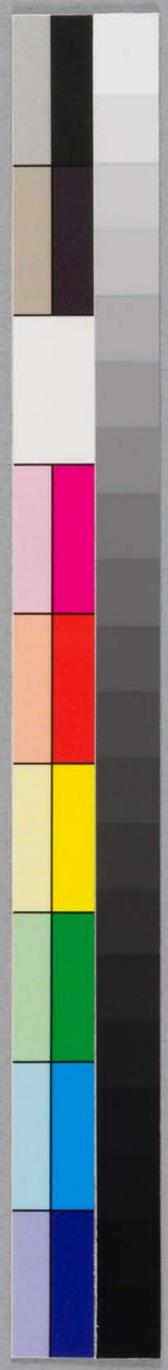
早カニ指ラズテ忍性ナクハ  
難好散ヲ時々指テ

角丁散ヲ掛テ吉

角丁散

角石 天石 白丁 各半々 細葉ニ

夜癒月ハ初メハ毫好入葉忍ニ



後年ノ所ハ若



タイハ  
身ハ尾ヨリ生スル  
身ノ故ニツボツロト云ヒ



スモル  
身ハ十日ニテハ生シナリ也



アツクニヤリ也

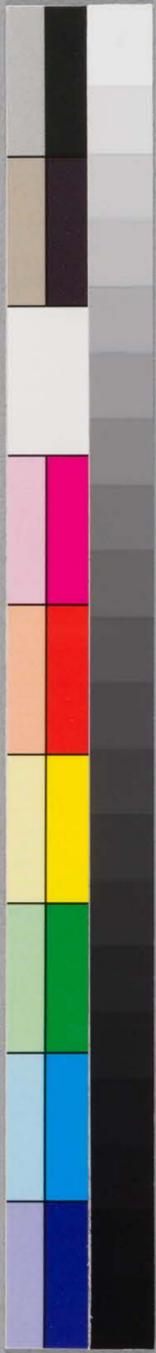
右何とモヌルカ子ニテ  
テシロク教

物ヲイハスト云フナシ

天麻教

天石 角石

アツクニスミ葉ヲ括テ昔スミ葉ハセウ入  
口ノ内ニ有



上明散 又之茶

仕上之指 毒ヲ眩之 糸薄 湯ニ之目ヲ  
冷ニスルニ

赤津 毒 賦ホシイ 蛇骨 貝子

クハ石ニ 珍 伝 女



目瘡

何色 泪 毒 女 也 血 有 六 二 三 日 已  
血ヲ九 十 五 員 八 毫 伝 散 ヲ 女 宛

二 日 休 之 後 天 麻 散 ヲ 搦 之 目 瘡

ト云 如 道 早 之 毒 矣 云

ム之茶 三テ吉 連

空 精 貝 子

身 近 キ 子 儿 六 白 角 散 之 如 成 之 吉



白眼 血 毒 累 眼 之 如 光 眼

身 月 ヤム 月 六 工 午 吉 口 血

工 儿 六 毛 搦 茶 八 毫 伝 散 吉



白眼と血筋有テマズマイ宛  
 血有玉眼血有ハ眼の中  
 アツカ子アテ掛茶ハ天麻教吉



白眼と玉眼、上エ下コ血有ハ掛茶  
 ハ天麻教吉、ハハ毫細教吉  
 白返キカセルハ白角教カ減セヨ

打目突目赤生ハ血有ハフエマケ

外障カコリタルハ外障、ハハ  
 赤生ハ血有ハハ外障、ハハ

打目ハ赤生ハハ外障、ハハ  
 指吉

メイボ、ものしらふ

セキ金虫、馬鹿、メヒスルハテフケテ吉

同ハスニハ 白卷じつりけニテトキ

カイクイ川ニ吉

ウニ又ク茶 車輪散

牛乳を 焼毫 蓬砂 辰砂

丹 之者 法 好 各 少 天 南 守

右 神 末 ノ 上 右 上 散 去 リ 中 ノ ウ ス ヤ ツ 毛

丸 子 柳 ノ ヘ 上 二 柳 ノ 口 キ 板 ニ テ シ ッ ク イ ノ

加 城 焼 リ 苺 子 ツ ブ 粒 拾 へ 二 日 ニ 二 反 二

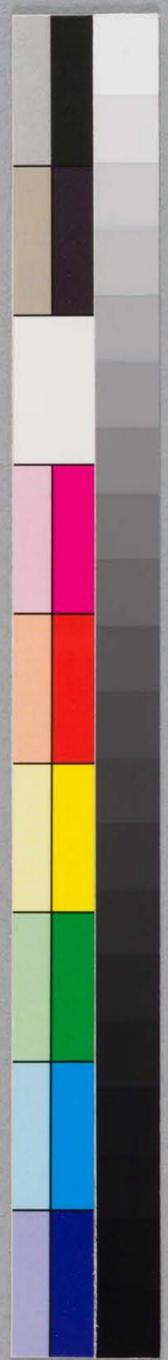
ヲ 廿 八 茶 辰 砂 焼 辰 砂

右 神 末 ノ 外 隊 ア ツ キ ニ 一 七 日 二 十 日

然 じ け ン ウ ニ ノ ヤ ウ 必 ち 多 ク ち ン ナ リ

ウ ニ 止 リ 次 才 ス ニ 茶 ヲ 拾 入 二

此 茶



浅焙 白岩 生焙 焼焙

蓬竹 式分半

右 細末ノリテ吉

茶目 夕タ夕シ月 妙茶

アセシ茶 蓬木フすりリマセ月ト茶

小児ノ子クオ 両ノ茶リ福ワ茶

口中ヲスルニテ古キ中チ分ハコケタルニ月ト古キ茶ヲ焼キテ息ナクハア汁

生ケニ 生巴 車チ茶

右ケシニ之程ニ巴<sub>シ</sub>合入敷目ニテ月  
俾大人お物<sub>ニ</sub>吉着<sub>ル</sub>子<sub>ハ</sub>巴<sub>ハ</sub>皮  
灸<sub>シ</sub>目

丁<sub>子</sub>ハ<sub>ニ</sub>物

芷 石膏 白芍 羌 芎 朮

飯 車<sub>下</sub> 坊凡 独 苓 苓

養<sub>ニ</sub>花<sub>ヲ</sub> 十<sub>ニ</sub>珠<sub>ノ</sub>灸<sub>目</sub>

小兒 白<sub>古</sub> 小<sub>瘰</sub>

白<sub>姜</sub> 蚕<sub>吐</sub> 香<sub>色</sub>ノ 蜜<sub>ニ</sub>煉<sub>テ</sub> 煎

口<sub>子</sub> 病

參<sub>多</sub> 芎 芷 蘇<sub>子</sub> 陳<sub>下</sub>

兵 之<sub>桂</sub> 頤<sub>貝</sub> 馬<sub>生</sub>

右神楽大草ニテカツク新九事取在  
用 鹿角 吉 手巾 吉 鹿角 吉

五痺

地黄 下 山茱 下 杜皮 養 芍 胡

老 各 膏

右せんし月

イニキン山茱

八月末日ニオチのサ子、入名ヲ丸ニテ

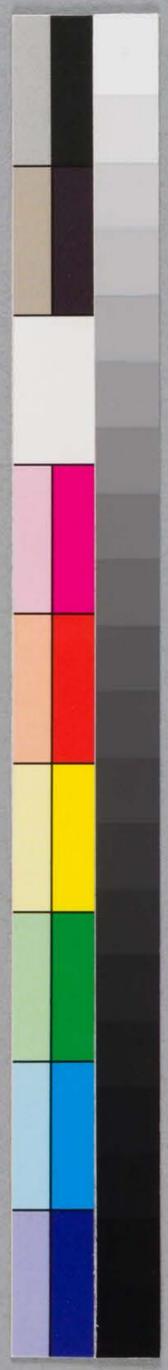
イニキンニスリ付大ニテアツリテ吉

カソメ草

山椒子 丹 馬砂大 口生 中

右せんし月

次、カウブエ 上ノ木生 馬砂



右二味ヲ湯ニテ日イテ干ノ味ヲ目吉

ノントハレ

イタムネ

カリ

精消フク

ホウキチ

白春下

ツツミテ吸入テ吉

ヒセン分茶

法延ク大黄家湯花ウ末カ末カ

皮カ末カ

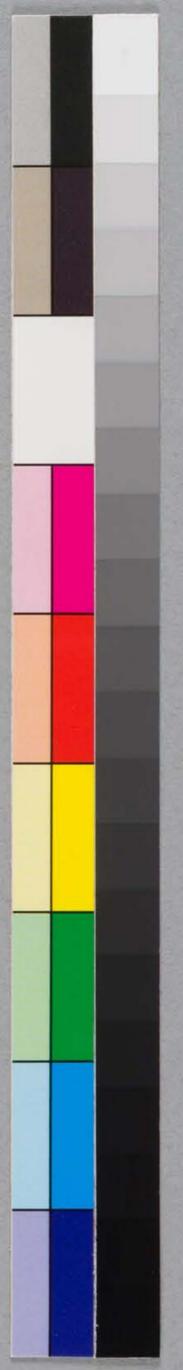
湯末カニテ湯ニテ吉

大黃カ生カ根カ酒カ吸カ華カニテ吉

せん丸カ又カ交カ末カ純カ酒カニテ吉

小兒カセカ中カ妙カ連カ根カヲ目吉

大カ白カハカテカ水カ女カ入カテカ新カ法カメカ目吉





三三ヨウ丸吞七吉

小使み過 小丸の月津神薬ニ吉

耳ん病

市糸根 耳 耳連 曲版 半千

多三草 白ケ 白松板 十葉

トキニシ 右 右 右 右

ム子ノ痛 耳をの干 耳入 煮月

耳ん手 明 明 明 明

耳ん病 銀の玉鏡 神来ノ月

流 流 流 流

そを そを 白 白

ニヤソウ口足

目七ギ 葛根 苦余 苧 苧 苧

右中未ノ目

廿月 後 拂

黄連 川 忍 瓜 根 年 一 条 呂 宋

山 柝 右 酒 之 方 賣 引

凡 ト ソ フ 凡 諸 痛 如 葉

乾 牛 子 接 皮 之 方 七 色 白 新 月 苧 新

但 之 割 之 行

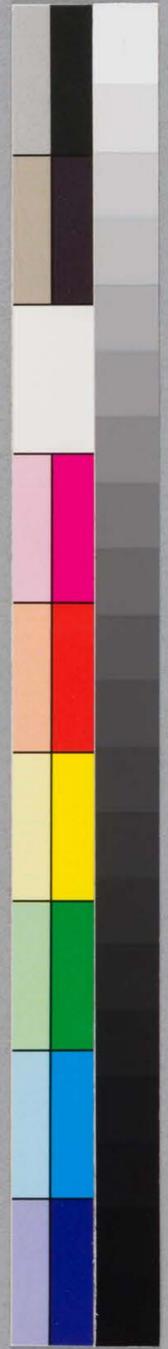
カク 一 子 子 色 之 故

カク 一 子 子 色 之 故

カク 一 子 子 色 之 故

ノ 粉 之 上 酒 之 口 凡 之

酒 之 口 凡 之 口 凡 之



懐毒<sup>タイ</sup>也

江<sup>カ</sup>リウ<sup>ウ</sup> 十<sup>シ</sup>カ<sup>カ</sup>シ<sup>シ</sup>ン<sup>ン</sup> 今<sup>イ</sup>日<sup>ニ</sup>日<sup>ニ</sup>江<sup>カ</sup>花

唐<sup>タウ</sup>膏<sup>コウ</sup> 川<sup>ケン</sup>芩<sup>シン</sup> 金<sup>キン</sup>銀<sup>イン</sup>花<sup>カ</sup> 莪<sup>オ</sup>朮<sup>ジツ</sup>

フ<sup>フ</sup>ツ<sup>ツ</sup>リ<sup>リ</sup>ツ<sup>ツ</sup> 菊<sup>キク</sup>十<sup>シ</sup> 各<sup>カク</sup>カ<sup>カ</sup>ク<sup>ク</sup>

右<sup>ウ</sup>花<sup>カ</sup>日<sup>ニ</sup>行<sup>キョウ</sup>吉<sup>キチ</sup>

不<sup>フ</sup>イ<sup>イ</sup>也<sup>ヤ</sup> 高<sup>カウ</sup>日<sup>ニ</sup>茶<sup>チャ</sup>

ハ<sup>ハ</sup>ニ<sup>ニ</sup>リ<sup>リ</sup>ニ<sup>ニ</sup>ヤ<sup>ヤ</sup>ン<sup>ン</sup> 中<sup>チュウ</sup>核<sup>カク</sup>仁<sup>ニ</sup> 牛<sup>ウ</sup>乳<sup>ニョウ</sup>十<sup>シ</sup>カ

相<sup>ソウ</sup>ノ<sup>ノ</sup>油<sup>ユウ</sup> 中<sup>チュウ</sup>核<sup>カク</sup>仁<sup>ニ</sup>

右<sup>ウ</sup>之<sup>ノ</sup>味<sup>ミ</sup> 煨<sup>ウイ</sup> 煎<sup>ケン</sup> 上<sup>ジョウ</sup> 入<sup>ニ</sup> 合<sup>カウ</sup> 入<sup>ニ</sup> 吉<sup>キチ</sup>

麻<sup>マ</sup> 苧<sup>ソ</sup> 州<sup>シュウ</sup>

甘<sup>カン</sup> 大<sup>ダイ</sup>白<sup>ハク</sup> 中<sup>チュウ</sup> 下<sup>ゲ</sup> 玉<sup>ギョク</sup> 三<sup>サン</sup> 入<sup>ニ</sup>

右<sup>ウ</sup>未<sup>ミ</sup>ノ<sup>ノ</sup>移<sup>イ</sup> 二<sup>ニ</sup>日<sup>ニ</sup>耳<sup>ニ</sup> 下<sup>ゲ</sup> 玉<sup>ギョク</sup> 中<sup>チュウ</sup> 入<sup>ニ</sup>

其<sup>シ</sup>子<sup>シ</sup> 中<sup>チュウ</sup> 下<sup>ゲ</sup> 前<sup>ゼン</sup> 日<sup>ニ</sup> 耳<sup>ニ</sup> 中<sup>チュウ</sup> 入<sup>ニ</sup>

其<sup>シ</sup>子<sup>シ</sup> 中<sup>チュウ</sup> 下<sup>ゲ</sup> 每<sup>メイ</sup> 日<sup>ニ</sup> 七<sup>シチ</sup> 日<sup>ニ</sup> 中<sup>チュウ</sup> 入<sup>ニ</sup> 玉<sup>ギョク</sup> 用<sup>ヨウ</sup>

併<sup>ヘイ</sup> 女<sup>メ</sup> 中<sup>チュウ</sup> ノ<sup>ノ</sup> 子<sup>シ</sup> イ<sup>イ</sup> ム<sup>ム</sup> ハ<sup>ハ</sup> 也<sup>ヤ</sup>

ニヤキ女

山菜少

二日月

耳

右中末大端

五海州

山抱子 貴根 天瓦粉

白木 猪令 裁木 茯苓

申女

右 六

同 菜 上 血 下 血

ヤニ

明 茶 辰 汝

右底砂水壺一灰一内、喜花紙し、  
集二葉糸御身去り、毛三か、  
毛上心粉葉ヲ入行洗テ吉

ヒセン湯葉一四

ケイロイ 右ノ 赤シカウカ  
工ノ花子白 仁ニトシテ  
又ヨクカク 人灰中

右ニ袋入湯中入テ入湯吉

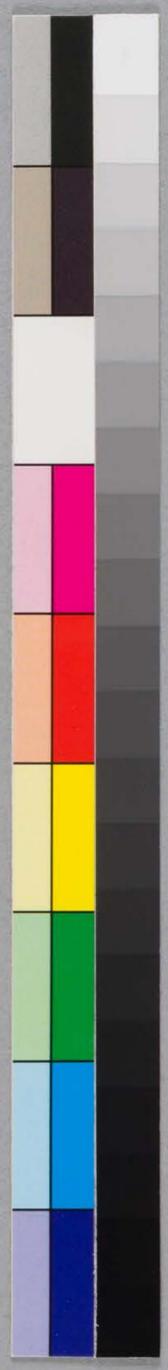
但し 煎洗テ

刺痛如茶

可香キも 水香キヒバツテ

物後 一也 白水

右ニ味沖茶ノ 壺ニテ丸用吉



小児子病吉

人参

甘草

芍薬

茯苓

丁子

兵

素

云後

硝

下滲 炙甘草 煨干 神末

芍日 煨干 神末 十

丸

甘ん

白ケイト 花

生リ

連

牛

其

右

物

清骨 志志 ヤソ

右 食 後

又ハ七月七日ニクセノイニクニ充元入

又ハ<sup>ツキ</sup>成子白<sup>ツキ</sup>森工<sup>ツキ</sup>花<sup>ツキ</sup>桃<sup>ツキ</sup>桃<sup>ツキ</sup>ヲ入テ

三寸ニ花<sup>ツキ</sup>中<sup>ツキ</sup>入<sup>ツキ</sup>テ

正氣散

以<sup>ツキ</sup>何<sup>ツキ</sup>ク<sup>ツキ</sup>去<sup>ツキ</sup>息<sup>ツキ</sup>ノ<sup>ツキ</sup>氣<sup>ツキ</sup>利<sup>ツキ</sup>初<sup>ツキ</sup>  
チ<sup>ツキ</sup>名<sup>ツキ</sup>月<sup>ツキ</sup>ツ<sup>ツキ</sup>心<sup>ツキ</sup>名<sup>ツキ</sup>リ<sup>ツキ</sup>キ<sup>ツキ</sup>早<sup>ツキ</sup>氣<sup>ツキ</sup>解

唐木 陳皮 活骨 中<sup>ツキ</sup>夏<sup>ツキ</sup> 去<sup>ツキ</sup>毒<sup>ツキ</sup>

耳 其<sup>ツキ</sup>目<sup>ツキ</sup> 卷<sup>ツキ</sup> 水<sup>ツキ</sup> 去<sup>ツキ</sup>毒<sup>ツキ</sup> 去<sup>ツキ</sup>毒<sup>ツキ</sup>

右<sup>ツキ</sup>黄<sup>ツキ</sup>目<sup>ツキ</sup>

五<sup>ツキ</sup>香<sup>ツキ</sup>湯<sup>ツキ</sup>

身<sup>ツキ</sup>茶<sup>ツキ</sup> 石<sup>ツキ</sup>花<sup>ツキ</sup> 大<sup>ツキ</sup>黄<sup>ツキ</sup> 其<sup>ツキ</sup>是<sup>ツキ</sup> 枳<sup>ツキ</sup>實<sup>ツキ</sup> 金<sup>ツキ</sup>

右<sup>ツキ</sup>黄<sup>ツキ</sup>目<sup>ツキ</sup>

十<sup>ツキ</sup>神<sup>ツキ</sup>湯<sup>ツキ</sup>

惣<sup>ツキ</sup>張<sup>ツキ</sup>キ<sup>ツキ</sup> 以<sup>ツキ</sup>痛<sup>ツキ</sup> 可<sup>ツキ</sup>ム<sup>ツキ</sup> 午<sup>ツキ</sup> 有<sup>ツキ</sup>  
也<sup>ツキ</sup>身<sup>ツキ</sup>痛<sup>ツキ</sup> せ<sup>ツキ</sup>キ<sup>ツキ</sup>者<sup>ツキ</sup> 中<sup>ツキ</sup>ん<sup>ツキ</sup>く

名<sup>ツキ</sup>ハ<sup>ツキ</sup>吉<sup>ツキ</sup> 夜<sup>ツキ</sup>愈<sup>ツキ</sup> ヲ<sup>ツキ</sup>イ<sup>ツキ</sup> 吉<sup>ツキ</sup>

葛<sup>ツキ</sup>根<sup>ツキ</sup> 耳<sup>ツキ</sup> 川<sup>ツキ</sup> 芎<sup>ツキ</sup> 麻<sup>ツキ</sup> 黄<sup>ツキ</sup>

北<sup>ツキ</sup> 桑<sup>ツキ</sup> 根<sup>ツキ</sup> 白<sup>ツキ</sup> 朮<sup>ツキ</sup> 升<sup>ツキ</sup> 广<sup>ツキ</sup> 陈<sup>ツキ</sup> 皮<sup>ツキ</sup>

香附子 芍药 生姜 茯苓

右考目

夕子通

蜀椒 宿砂 小豆 甘草 茯苓

山桅子 貝母 芫花 陈皮 枳实

枳实根 桔梗 生姜

右考目

虫下し

海草大 苦 陈皮 干 蒲黄

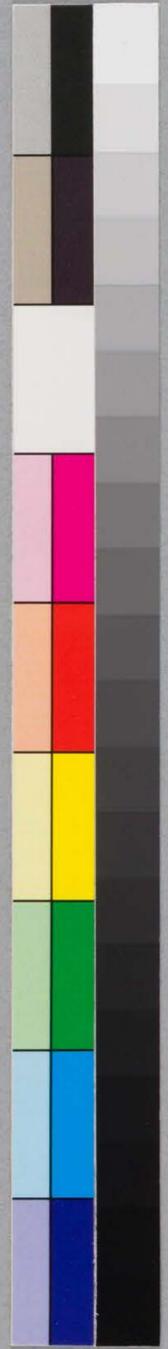
黄柏 炙黄 甘草

右考目

ヤブタバコ 久ハシ 野苧茶

ヨモギノキハニテ七 骨ニテ七 小口ニテ

カキ 厚紙 押コセ 付テ吉



新皮也月讀才一妙

舊ツリ根 おろーテ 小春移

マゼテ 吹テ 移テ 吉

右何也テモ くドテ 久列付妙

津無奴 月ノ灸 在

初日灸テ 明日カ川 又明日セト

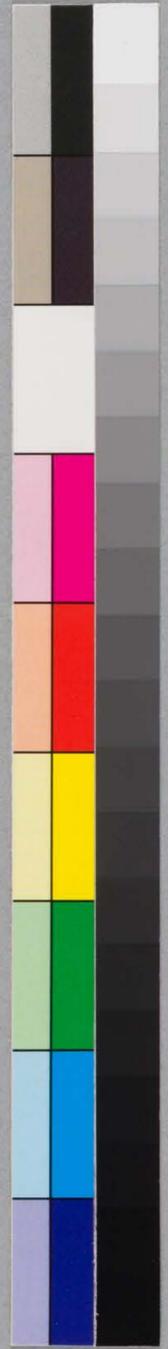
妙形一日、七日ノ日、二日増灸

右此日ステ 済ク 一日休 又初ノ通

灸ス 又テ 申出スル

日 才ホリヨトニ 灸

妙秋セ 節ノ 八ツ月ノ 灸十一



日 痢 病 名 灸 ぬ 歎 果 久 又 工 吉

へ ぞ じ 方 工 中 七 味 増 進 工

目

本 夕 三 三 夕 中 工  
抄 見 丁 上 工 灸 三 行  
ス 工 中 へ し



ヲ ホ リ 脊 骨 中 脊 骨 目 灸 上 一  
丸 四 行 丸 不 行 一 行 又 工 上 へ し 日 一 日 へ し

小 児 かん 口 灸 一 行 一 行 丸 一 丸 又 十 行

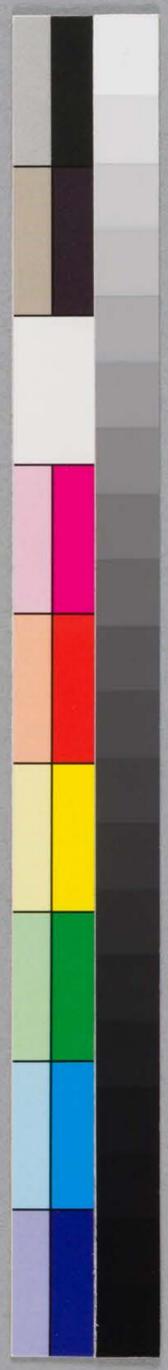
名 灸 是 人 見 出 六 右 右 左 左

灸 一 行 一 行 一 行 一 行

ア ン 一 行 一 行 一 行 一 行

カ 丸 灸 一 行 一 行 一 行 一 行

灸 一 行 一 行 一 行 一 行 一 行 一 行



一 頭痛ノ名矣 我々ノ年ヲ異ト同トイ  
ヘルタル下工ハ年ヲアテ更ニ中ヨハ  
アタモノヨトリ工更ニ上テ更ニ  
ニアナリヨケテ上工更ニ上テ更ニ  
會キヨリスエテ好流

一 乃ハセリ下ケ名矣 我々ノ年キ節  
月アテ親由ビノあり節の中ハ  
ニツスエテ吉 但し其より

一 切ノ箇ノ名矣 下ノ二より上  
ニテ中トナシ入リ亦拜ハ後ニテ吉

一 大ニ法ハ古屋お押チ及今法ハ  
扱御中ニテ人おためニ花新  
そ人しおびたるものあり 諸君ニテ

